

平成16年3月期 第1四半期業績の概況（連結） 平成15年7月31日

上場会社名 大正製薬株式会社

（コード番号：4535 東証第1部）

(URL <http://www.taisho.co.jp/>)

問合せ先 代表者 代表取締役社長 上原 明

責任者 上席理事経理部長 加賀美 隆之

（TEL：(03) - 3985 - 1111）

1. 四半期業績の概況の作成等に係る事項

売上高の会計処理の方法の最近連結会計年度における認識の方法との相違の有無：無

2. 平成16年3月期第1四半期業績の概況（平成15年4月1日～平成15年6月30日）

(1) 連結売上高

（注）金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

期	項目	売上高	前年同期比
平成16年3月期第1四半期		65,294百万円	-
平成15年3月期第1四半期		-	-
(参考)平成15年3月期通期		274,077百万円	1.0%

（注）当該四半期より四半期業績の概況の開示を行っているため、前年同四半期実績および増減率については記載しておりません。売上高の数値は監査法人による監査を受けておりません。

〔連結売上高に関する補足説明〕

当第1四半期の連結売上高は、652億9千4百万円余になりました。

うち、セルフメディケーション事業の連結売上高は、435億3百万円余で前年同期比概ね横ばいでした。主力のドリンク剤「リポビタンシリーズ」や風邪薬「パブロンシリーズ」は、ほぼ前年同期並みでしたが、壮年性脱毛症における発毛剤「リアップ」や水虫薬「ダマリン」はマイナスでした。

医薬事業の連結売上高は、217億9千1百万円余となりました。マクロライド系抗生物質「クラリス」や非ステロイド性消炎鎮痛剤「ロルカム錠」は上伸びしましたが、末梢循環改善剤「パルクス注」などは減少しております。なお、当第1四半期より大正富山医薬品株式会社の売上高が計上されており、富山化学工業株式会社の製品が連結売上高の増加に寄与しております。

(2) 当該四半期において企業集団の財政状態及び経営成績に重要な影響を与えた事象

該当する事象は発生しておりません。

3. 平成16年3月期の連結業績予想（平成15年4月1日～平成16年3月31日）

	予想売上高	予想経常利益	予想当期純利益	1株当たり 予想当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
中間期	157,000	36,300	20,900	-
通期	310,000	61,700	35,400	107.23

業績予想の見直しは行っておりません。

以上